

制 服 着 用 要 領

制服は、以下の要領にて着用するものとする。

1 準備する制服

駐車監視員1名について、男女の別に応じて、少なくとも以下の物を用意するものとする。（別添「駐車監視員制服等仕様書」のとおり）

- (1) 夏服上衣 各1着（半袖及び長袖）
- (2) 冬服上衣 1着
- (3) 防寒服 1着（コート式又はブルゾン式）
- (4) 雨衣 1着
- (5) ズボン 各1着（夏用及び冬用）

濃緑色（色彩番号DICPARTⅡ 1版2360又はその相当色）又は黒色の長ズボン

- (6) 白色ワイシャツ 必要数
- (7) 紺色無地ネクタイ 1本（省略可）
- (8) 黒色短靴 1足
- (9) 黒色ベルト 1本

2 北海道警察が貸与する制服

駐車監視員1名について、ヘルメット、帽子（夏用及び冬用）、腕章を各1個を貸与するものとする。

3 制服の着用方法

- (1) 駐車監視員が放置車両の確認等を行う場合には、原則として、以下の区分に応じ、それぞれ各号に定める制服を着用するものとする。
 - ア 夏期（概ね 5月1日から9月30日まで）
夏服上衣、夏用ズボン、黒色短靴、黒色ベルト
 - イ 冬期（概ね 10月1日から4月30日まで）
冬服上衣、冬用ズボン、白色ワイシャツ、黒色短靴、黒色ベルト
- (2) 必要がある場合は、防寒服を着用することができる。冬期の場合においては、防寒服内側に冬服上衣を着用しないことができる。
- (3) 雨天時その他必要がある場合は、雨衣を着用することができる。
- (4) 駐車監視員が放置車両の確認等を行う場合には、上記のほか、北海道警察から貸与される帽子又はヘルメットを常時着用し、腕章を外部から見やすいよう常時着用するものとする。
- (5) 駐車監視員としてふさわしい端正な身だしなみ及び品位の保持に配慮し、夏服上衣

及び冬服上衣（ネクタイ省略時）は、原則としてボタンを開けるのを第一ボタンまでとする。

4 準備に当たっての留意事項

制服を準備する場合は、原則として、別添の各仕様書によることとするが、仕様書に基づく製作が困難である場合等は、同程度の品質、技術を保持した上で、他の地質、縫製技術によることとしても差し支えない。

なお、上記につき、疑義がある場合は、あらかじめ北海道警察の指示を受けること。

駐 車 監 視 員 制 服 等 仕 様 書

北 海 道 警 察 本 部

別表

1 男性駐車監視員

記章		色及び制式	図1のとおりとする。	
冬服	上衣	色	薄緑色（色彩番号D I C 1版C-203又はその相当色）とし、肩章のみ濃緑色（色彩番号D I C PART II 1版2360又はその相当色）とする。	
		地質	反射糸入り織物とする。	
		制式	襟	折り襟式とする。
			肩章	外側の端を両肩の縫い目に縫い込み、襟側を銀色の金属製ボタン（以下「銀色金属ボタン」という。）各1個で留める。
		前面	1 前立てに銀色金属ボタン5個を1行に付ける。 2 左右の胸部にポケット各1個を設ける。ポケットにはふた及び銀色金属ボタン各1個を付ける。 3 左右の腰部にポケット各1個を設ける。 4 左右胸部ポケット上部に銀色の光反射布（以下「銀色反射布」という。）を付ける。	
		後面	上部に銀色反射布を付ける。	
		そで	1 長そでとする。 2 左そで上部に腕章を吊るループを付ける。 3 そで口には銀色金属ボタン各2個を1行に付ける。 4 そで口には銀色反射布を付ける。	
			形状は、図2のとおりとする。	
	ズボン	色	濃緑色（色彩番号D I C PART II 1版2360又はその相当色）又は黒色とする。	
		制式	長ズボンとする。	
夏服	上衣	色	薄緑色（色彩番号D I C 1版C-203又はその相当色）とし、肩章のみ濃緑色（色彩番号D I C PART II 1版2360又はその相当色）とする。	
		制式	襟	シャツカラー式とする。
			肩章	外側の端を両肩の縫い目に縫い込み、襟側を濃緑色の樹脂製ボタン（以下「濃緑色樹脂ボタン」という。）各1個で留める。
		前面	1 襟元に濃緑色樹脂ボタン1個を付ける。 2 前立てに濃緑色樹脂ボタン6個を1行に付ける。 3 左右の胸部にポケット各1個を設ける。ポケットにはふた及び濃緑色樹脂ボタン各1個を付ける。 4 左右胸部ポケット上部に銀色反射布を付ける。	
		後面	1 上部にヨークを入れ、裏はメッシュとする。 2 背ヨーク裾に銀色反射布を付ける。	
		そで	1 長そで又は半そでとする。 2 左そで上部に腕章を吊るループを付ける。 3 長そでにあってはカフス式のそで口とし、そで口には濃緑色樹脂ボタン各2個を1行に付ける。	

	ズボン	色	濃緑色(色彩番号D I C PART II 1版2360又はその相当色)又は黒色とする。
		制式	長ズボンとする。
帽子		色	濃緑色(色彩番号D I C PART II 1版2360又はその相当色)とする。
		制式	<ol style="list-style-type: none"> 1 キャップ式とする。 2 前立て及びレンゲはM型六方とする。 3 左右側面及び後部に銀色反射布を付ける。 4 記章を前立て中央に付ける。 5 形状は、図4のとおりとする。
防寒服		色	薄緑色(色彩番号D I C 1版C-203又はその相当色)とする。
		制式	コート式又はブルゾン式とする。
		襟	立て折り兼用式とする。
		肩章	外側の端を両肩の縫い目に縫い込み、襟側を銀色の金属製ドットボタン(以下「銀色金属ドットボタン」という。)各1個で留める。
		前面	<ol style="list-style-type: none"> 1 コート式にあつては、ダブルとし、銀色金属ドットボタン各3組を2行に付ける。ブルゾン式にあつてはシングルとし、銀色金属ドットボタン6組を1行に付ける。 2 左右の腰部にポケット各1個を設ける。ポケットにはふたを付ける。 3 左右の胸部に銀色反射布を付ける。
		後面	<ol style="list-style-type: none"> 1 コート式にあつては、センターベンツとする。 2 上部に銀色反射布を付ける。
		そで	<ol style="list-style-type: none"> 1 長そでとする。 2 左そで上部に腕章を吊るループを付ける。 3 コート式にあつては、そで口に銀色反射布を付け、銀色金属ボタン各2個を1行に付ける。ブルゾン式は、そで口に銀色反射材を付け、そで口の外側にそでバンドを付け、そでバンドを留める面ファスナー1組を付ける。
			形状は、図5のとおりとする。
雨衣	上衣	色	薄緑色(色彩番号D I C 1版C-203又はその相当色)とする。
		地質	防水加工を施す。
		制式	ハーフコート式とする。
		襟	<ol style="list-style-type: none"> 1 立ち襟式とする。 2 襟回りに凹型のドットボタン3個を付ける。 3 頭きんを収納する襟カバーを付ける。
		前面	<ol style="list-style-type: none"> 1 前立てにファスナー1本及びドットボタン6組を1行に付ける。 2 左右の腰部にポケット各1個を設ける。ポケットにはふたを付ける。 3 左右の胸部に銀色反射布を付ける。
		後面	上部に銀色反射布を付ける。
		頭きん	<ol style="list-style-type: none"> 1 凸型のドットボタン3個を付ける。 2 前側見返しをひも通しとし、黒色のひもを通す。

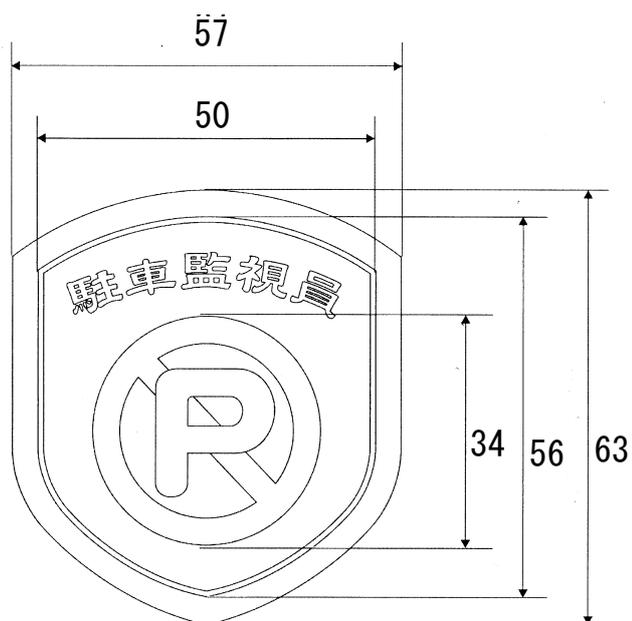
			3 前面マスク部に面ファスナー2組を付ける。
		そで	1 長そでとする。 2 左そで上部に腕章を吊るループを付ける。 3 後部に銀色反射布を付ける。 4 そで口に内側ゴムを内包し、持出し及び面ファスナーを付ける。
		裾	裾見返しはひも通しとし、黒色のひもを通す。
			形状は、図6のとおりとする。
ズボン	色		濃緑色(色彩番号D I C P A R T II 1版2360又はその相当色)とする。
	地質		上衣と同質とする。
	制式		1 長ズボンとする。 2 腰部に伸縮性ベルトを付ける。 3 腰部にベルト通し5本を付け、黒色の布製ベルトを通す。 4 前立てにファスナー1本を付ける。 5 前立ての上部にドットボタン1組を付ける。 6 裾後部に銀色反射布を付ける。 7 形状は、図7のとおりとする。
腕章	色		紺色(色彩番号D I C 1 2版F6又はその相当色)とする。
	地質		反射性生地とする。
	制式		1 ベルト中央部に記章を付ける。 2 左側にホック凹部2個を1行に付ける。 3 右側にホック凸部2個を3行に付ける。 4 中央上部にリボン、安全ピン及びクリップを付ける。 5 形状は、図8のとおりとする。

2 女性駐車監視員

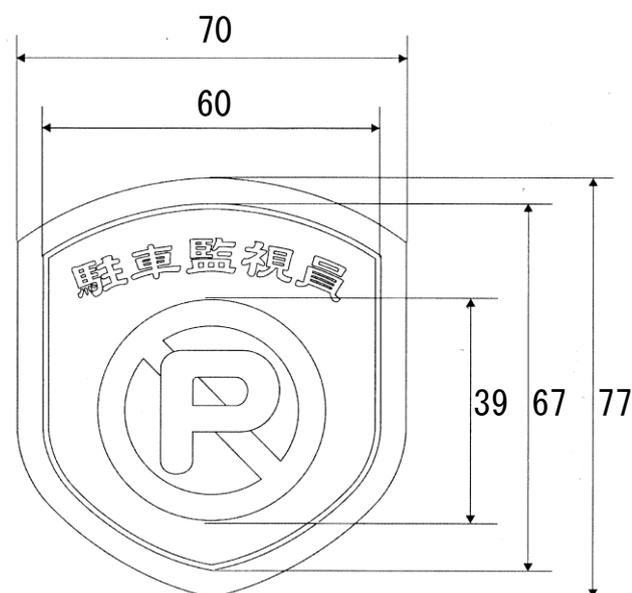
記章		色及び制式	図1のとおりとする。	
冬服	上衣	色	男性駐車監視員冬服上衣と同色とする。	
		地質	男性駐車監視員冬服上衣と同質とする。	
		制式	1 前身内合わせを右上前とする。 2 1のほかは、男性駐車監視員冬服上衣と同様とする。 3 形状は、図9のとおりとする。	
	ズボン	色	男性駐車監視員冬服ズボンと同色とする。	
		制式	男性駐車監視員冬服ズボンと同様とする。	
	夏服	上衣	色	男性駐車監視員夏服上衣と同色とする。
制式			1 前身内合わせを右上前とする。 2 長そでのそで口には濃緑色樹脂製ボタン各1個を付ける。 3 1及び2のほかは、男性駐車監視員夏服上衣と同様とする。 4 形状は、図10のとおりとする。	
ズボン		色	男性駐車監視員夏服ズボンと同色とする。	
		制式	男性駐車監視員夏服ズボンと同様とする。	
帽子		色	男性駐車監視員帽子と同色とする。	
		制式	男性駐車監視員帽子と同様とする。	
防寒服		色	男性駐車監視員防寒服と同色とする。	
		制式	1 前身内合わせを右上前とするほかは、男性駐車監視員防寒服と同様とする。 2 形状は、図11のとおりとする。	
雨衣	上衣	色	男性駐車監視員雨衣上衣と同色とする。	
		地質	男性駐車監視員雨衣上衣と同質とする。	
		制式	1 前身内合わせを右上前とするほかは、男性駐車監視員雨衣上衣と同様とする。 2 形状は、図12のとおりとする。	
	ズボン	色	男性駐車監視員雨衣ズボンと同色とする。	
		地質	男性駐車監視員雨衣ズボンと同質とする。	
		制式	1 前身内合わせを右上前とするほかは、男性駐車監視員雨衣ズボンと同様とする。 2 形状は、図13のとおりとする。	
腕章			男性駐車監視員腕章と同様とする。	

図1 記章

記章を帽子に付ける場合



記章を腕章に付ける場合



備考1 : 円形の記号の部分については、文字の色彩は白色、斜めの帯及び枠の色彩は赤色(色彩番号DIC12版-199又はその相当色とする。)地の色彩は紺色(色彩番号DIC12版-F6又はその相当色とする)とし、その他の部分については、文字及び縁線の色彩は白色、縁の色彩は黒色、地の色彩は紺色(色彩番号DIC12版-F6又はその相当色とする。)とする。

備考2 : 円形の記号の部分の文字並びにその他の部分の文字及び縁線については、蓄光のものとする。

備考3 : 図示の長さの単位は、ミリメートルとする。

图2 冬服上衣

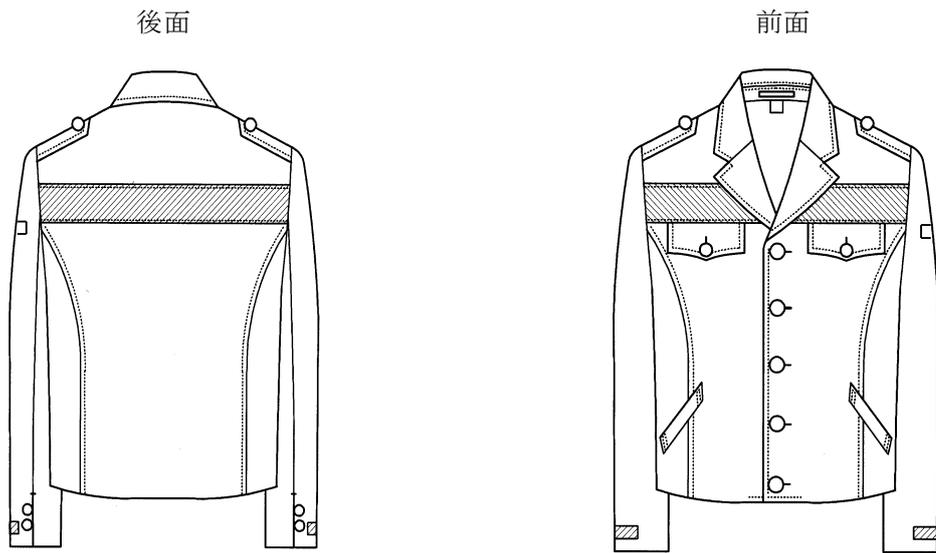
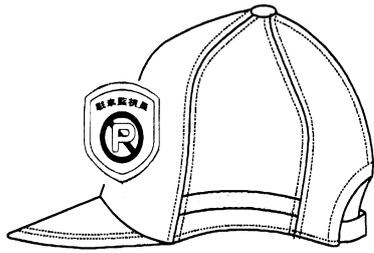


图3 夏服上衣



図4 帽子

側面



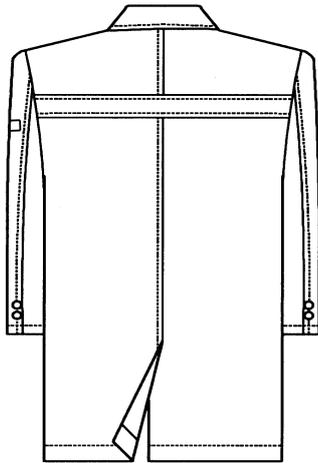
前面



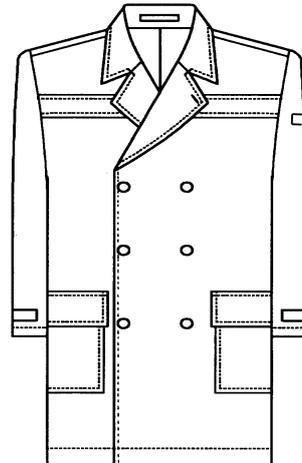
図5 防寒服

コート式

後面

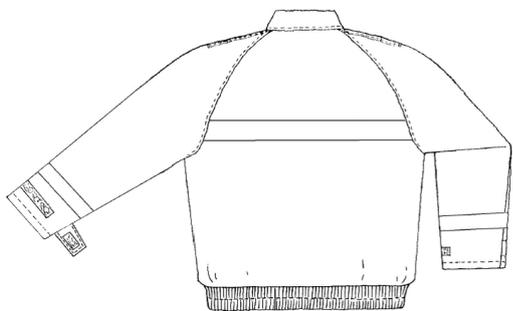


前面



ブルゾン式

後面



前面

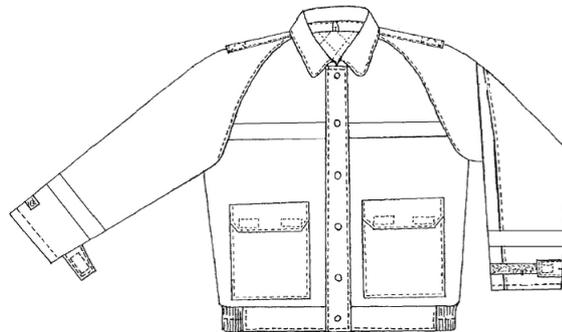
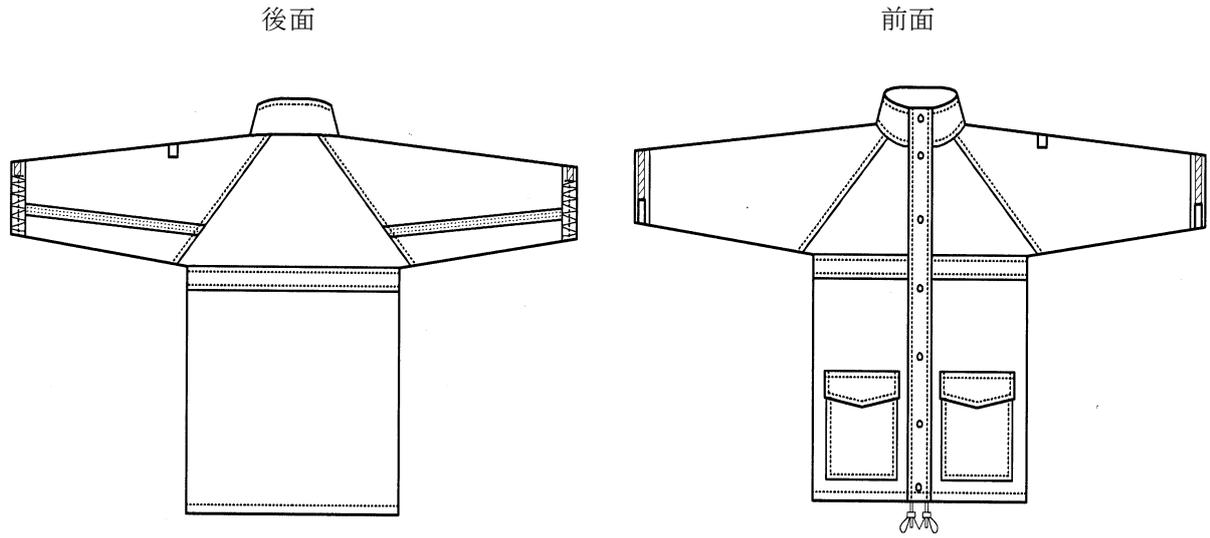


図6 雨衣上衣



頭きん

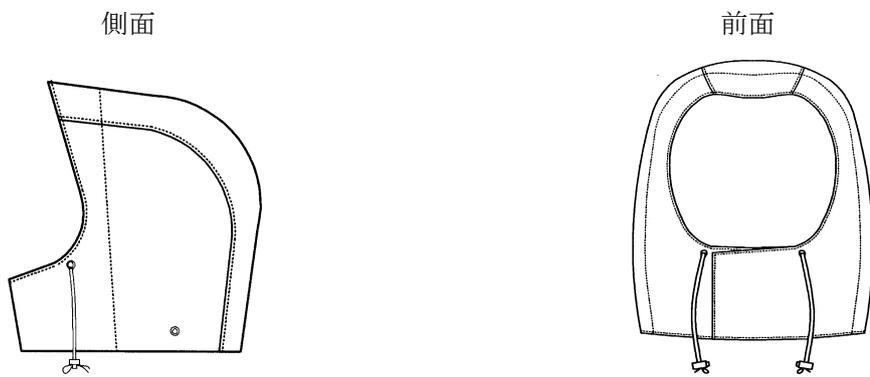


図7 雨衣ズボン

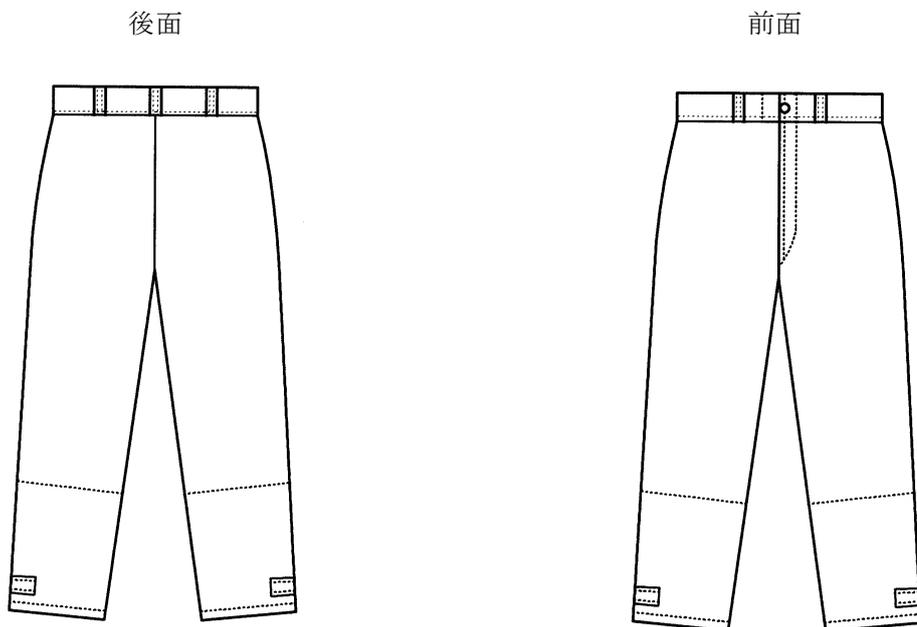


图8 腕章

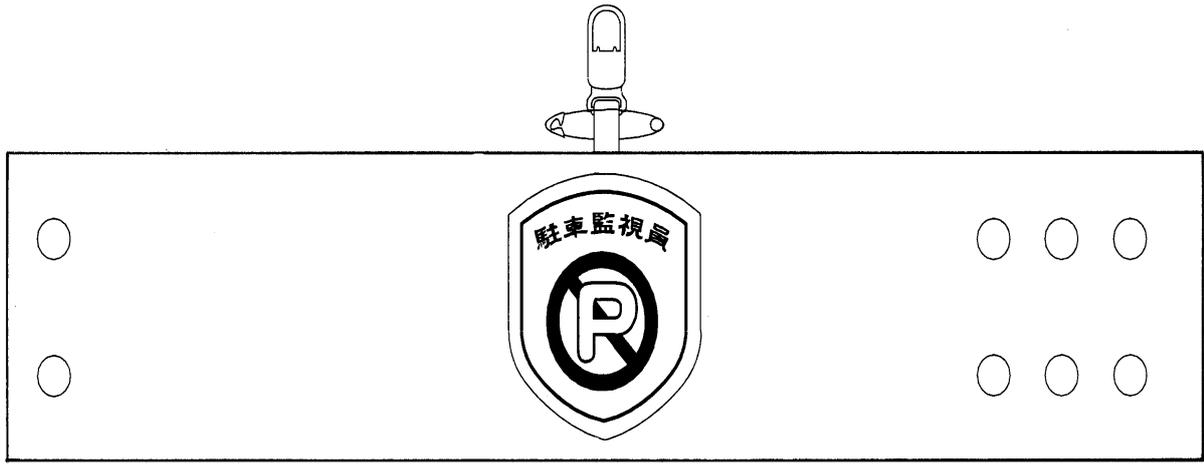


图9 冬服上衣

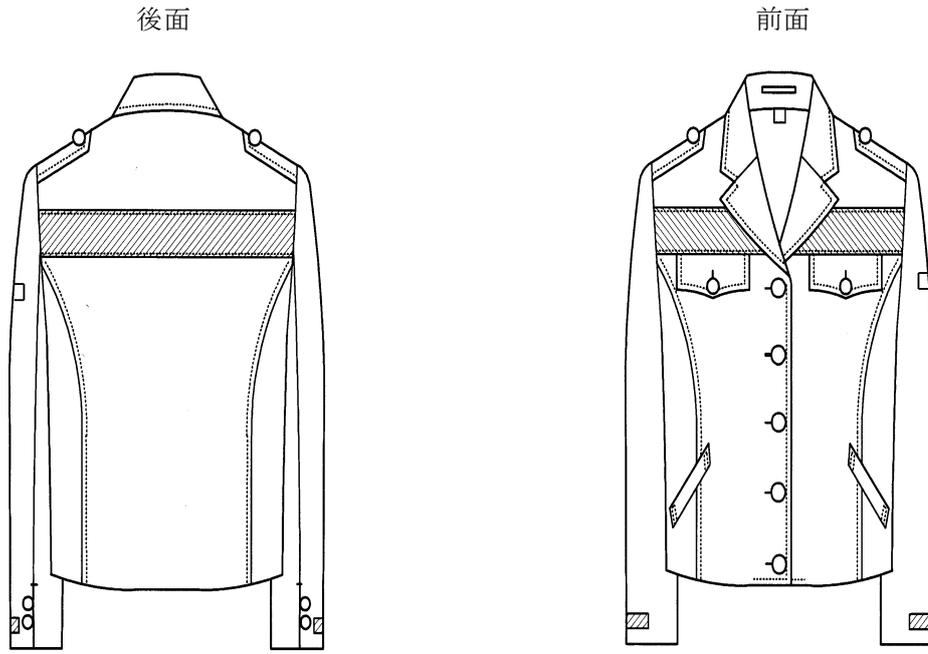


图10 夏服上衣

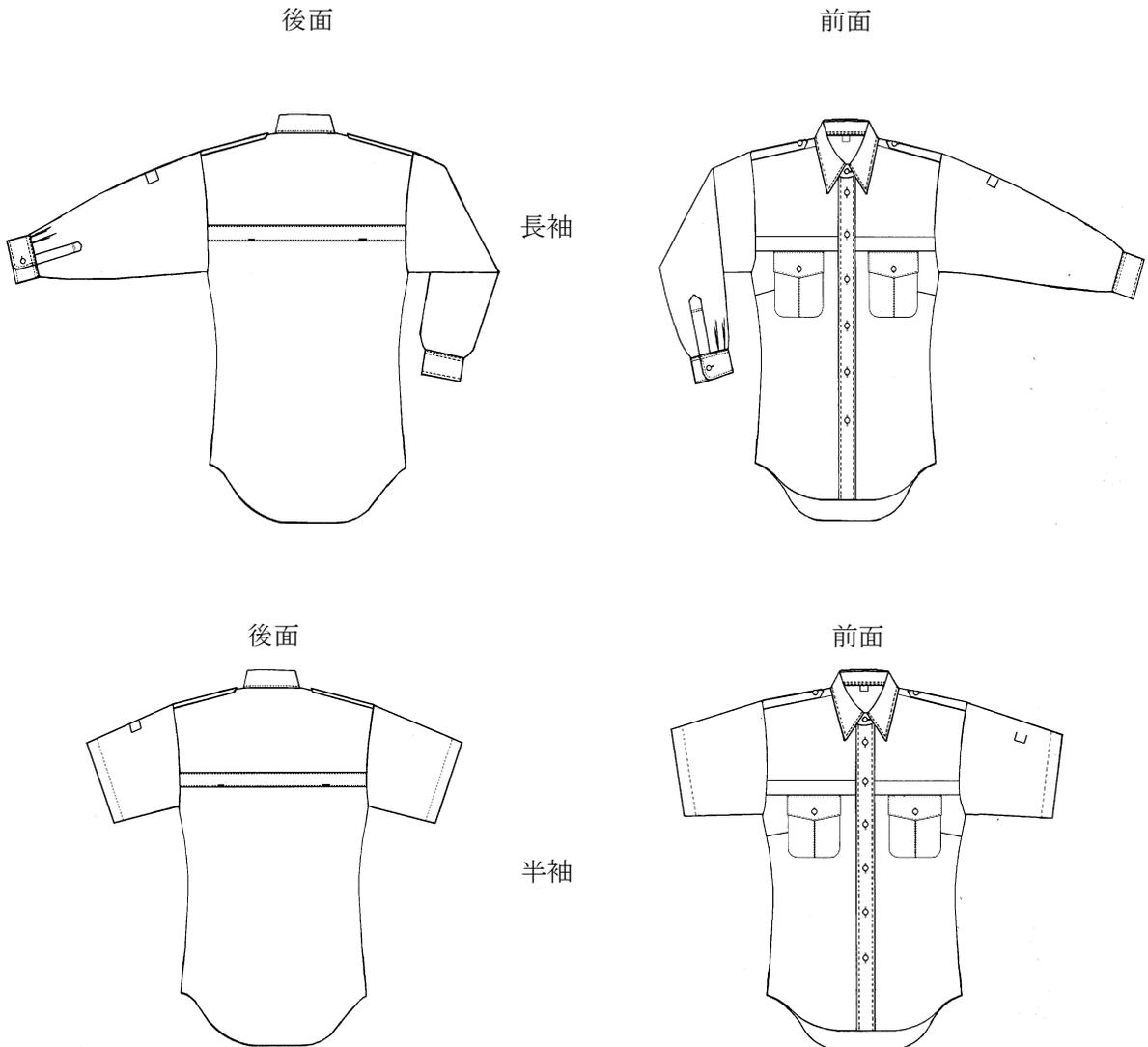
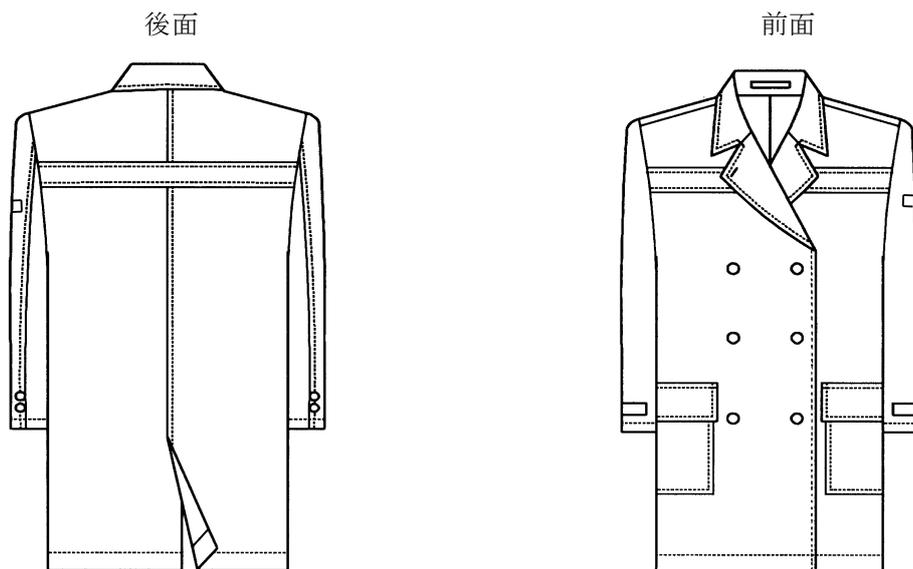


図11 防寒服

コート式



ブルゾン式

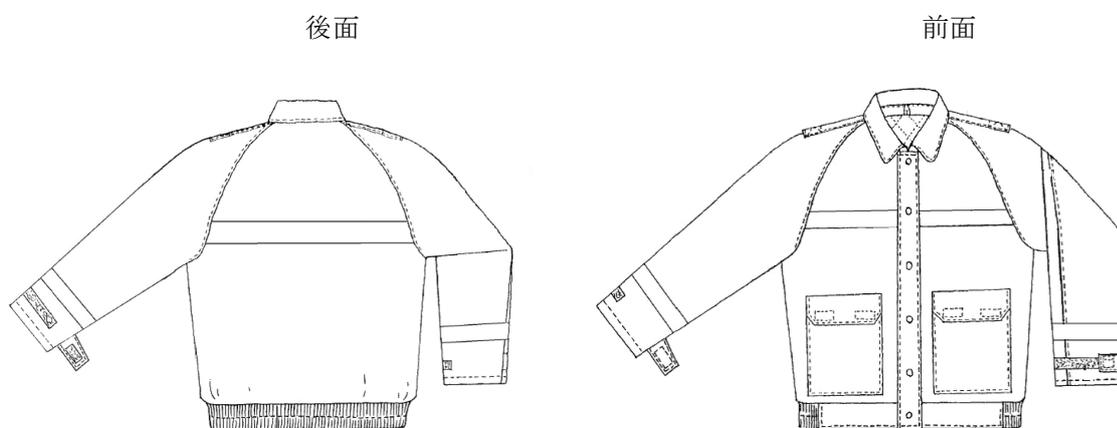
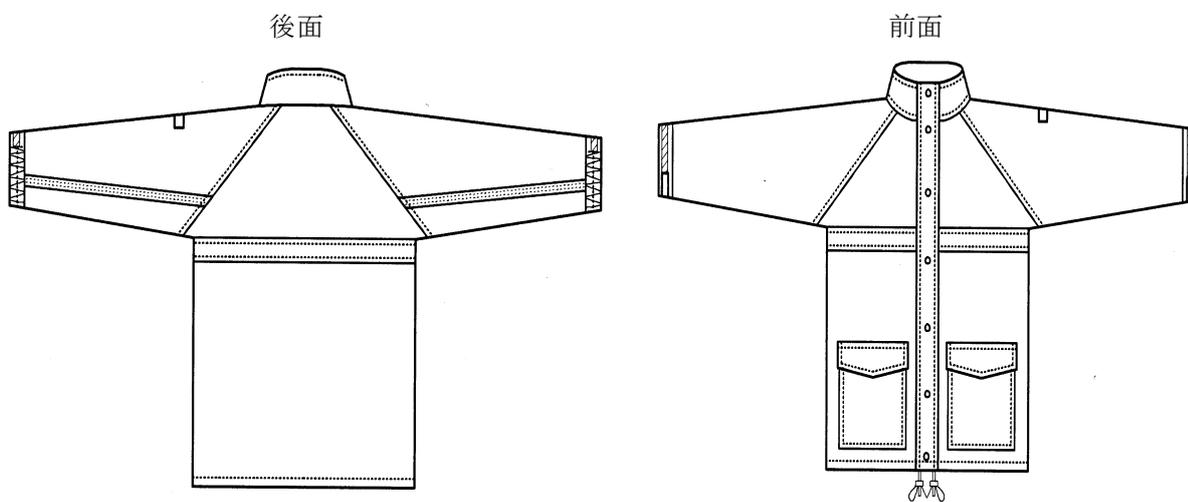
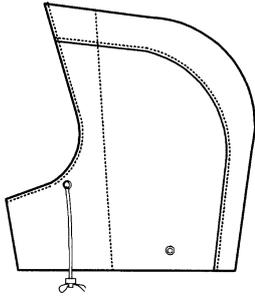


図12 雨衣上衣



頭きん

側面



前面

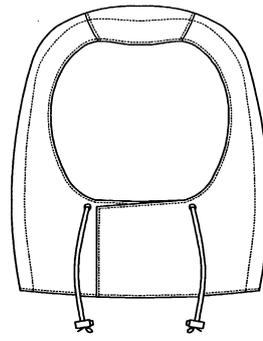
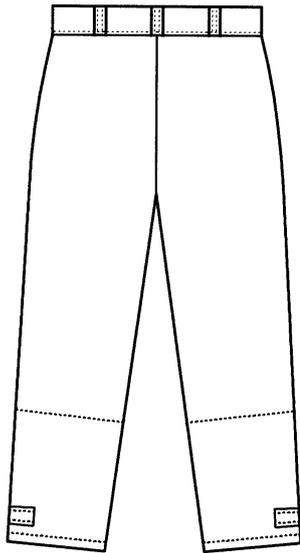


図13 雨衣ズボン

後面



前面

